

はじめに

平成 29 年度から 3 年間にわたって文部科学省の私立大学研究ブランディング事業の「地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備事業」で採択され、更に、令和 4 年度に岐阜県私立大学地方創生推進事業に「デジタルアーカイブによる新たな価値創造推進事業」で採択され、計 4 年間にわたりこれまでに本学独自で育ててきたデジタルアーカイブ研究を活用し、地域資源のデジタルアーカイブ化とその展開によって、伝統文化産業の活性化などの地域課題の実践的な解決や新しい文化を創造できる人材育成を行い、地域の知の拠点となる大学を目指し事業を展開してきた。

その中でも「郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブ」は、以下の点に注力して研究を進めてきた。

- ①郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブ（文化遺産の収集と調査、建造物・建築物群の歴史的な価値の調査、白山信仰の三馬場の調査）において「知的創造サイクル」を構成し、世界遺産への登録を支援する。
- ②郡上白山の文化遺産の調査、建造物、建築物群の歴史的・文化的価値の調査並びに白山信仰の三馬場の調査を綿密に行い、デジタルアーカイブ研究により、新たな観光資源の発掘を支援する。
- ③フィールドにおける効果検証をするためのデジタルアーカイブ研究として捉え、解の見えない地域課題の解決をするための地域資源デジタルアーカイブとそのメソッドを確立する。

これらにより、地域の知が適切に循環・増殖することで新たな価値の創造と、これらを実践できる高度な専門的な知識を持つ人材の養成による雇用の創出を促進し、その結果として「知的創造サイクル」としてデジタルアーカイブの効果が認められ、さらにデジタルアーカイブの新たな展開が期待できる。また、これにより大学は地域に開かれた「知の拠点」となりうる。

この「郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ資料」は、本学が展開しているデジタルアーカイブの最新成果であり、これらの研究の拠点となるデジタルアーカイブ研究所では、大学が大学としてのアイデンティティを確立するためにも、「知」の拠点としての地域資源デジタルアーカイブを含めた総合的な大学デジタルアーカイブを構築することを支援している。今後は継続してデジタルアーカイブ研究に取り組むとともに新たな養成カリキュラムを構築することが本学として社会的な責務と捉えている。

2023 年 1 月

デジタルアーカイブ研究所長

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所 資料集

郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ資料集（中）

2023.1

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所

地域の文化資源を守り、知識基盤社会を支える人材の育成



令和4年度 岐阜県私立大学地方創生推進事業

デジタルアーカイブによる新たな価値創造推進事業

岐阜女子大学



郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ資料集(中)

発行年 2023年1月 初版

制作 デジタルアーカイブ研究所

監修：久世 均（デジタルアーカイブ研究所長）

編集：大木佐智子（所員・上級デジタル・アーキビスト）

記録：有井弥生，稲葉詩織，稲葉秀章，熊田郁子

（郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ作成委員会）

櫛 彩見，井上 透，加治工尚子，加藤真由美，熊崎康文

木幡智子，谷 里佐，林 知代，三宅茜巳

（デジタルアーカイブ専攻）

刊行 岐阜女子大学

〒501-2592

岐阜県岐阜市太郎丸 80 番地

TEL (058)229-2211(代)